



訪問 機能訓練マッサージ

東京在宅サービス

機能訓練マッサージ CASE3

クモ膜下出血による、右麻痺の肩関節屈曲可動域訓練

【機能訓練マッサージ】・・・一人ひとりの症状や状態を把握・評価し、表出症状を軽減し要望目的への阻害要因を減衰させることで、

効果的な身体機能の維持・改善と QOL の向上を目指すための様々な手技・訓練等の組み合わせた手法

K・N様 62才 女性 陳旧性クモ膜下出血による言語障害、右上下肢麻痺 等
言語障害がある為、指示が伝わりづらく自動運動が出来にくい状況でした。

普段から自身で出来る機能訓練を行いたいとの要望がありました。

肩関節可動域：自動 0 度（腕があがらない）他動 0 度 肘関節可動域：自動 90 度

1ヶ月目 （水・日） 7回訪問



自動 40 度

右上肢は肩から手首・指先に至るまで可動域改善運動に対して、大変痛みを訴えます。
痛みと拘縮が強く可動制限があります。

2ヶ月目 （水・日） 8回訪問



自動 40 度

他動 40 度

マッサージをすることで、筋肉が柔らかくなってきたが、まだ痛みの訴えはあります。

3ヶ月目 （水・日） 9回訪問



自動 60 度

他動 80 度

右上肢の痛みの訴えが減ってきて、肩関節は寝ながら大きく回旋運動が出来ました。

4ヶ月目 （水・日） 9回訪問



自動 70 度

他動 85 度

今月から鍼治療をマッサージと並行して施術。
肩関節可動域は当初より 30 度改善出来ました。

週2回サービス介入し、4ヶ月を経過。肩の痛みは軽減し可動域は拡大しました。自動運動にも慣れ普段から訓練されております。肩の可動域拡大で着替えが楽になったとご夫婦で喜んでおられます。